

科目名 (科目番号)		栄養教育論Ⅰ (時間割参照)	教員名	伊部 陽子	学科等	保健栄養	必修	履修年次	1
					曜日・時限等	時間割表参照		単位数	2
					授業形態	講義	オフィスアワー	D307研究室	
授業概要		栄養教育では、健康の保持・増進、疾病の予防・治療、QOLの向上を目指し、食行動変容に対する支援を行う。主体的な食行動変容・維持・定着を促すために、行動科学の理論とモデル、行動変容技法、栄養教育マネジメントの理論とモデル、カウンセリング技法の特徴と活用方法を学習する。また、食行動変容には、教育面に加えて、環境面を整える必要がある。環境を整えるために、食環境整備と組織・地域に関する理論と概念についても学習する。							
目的・目標		目的:主体的な食行動変容を促すために、行動科学の理論とモデル、行動変容技法、食環境整備、栄養カウンセリングのそれぞれの特徴を理解し、対象者の状況に応じ実際に活用できるようにする。 目標:栄養教育で用いる行動科学の理論とモデル、行動変容技法の利用を理解する。栄養教育マネジメントを理解する。食環境整備や組織・地域に関わる理論と概念を理解する。栄養カウンセリングの基礎的技法を理解する。							
準備学習		毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授業計画	回	授業項目		到達目標・学習内容					
	1	栄養教育の基礎知識		到達目標:栄養教育の基礎知識を習得し、その全体像を理解する。 学習内容:栄養教育の定義、歴史、目的、目標、対象、栄養教育の場、食行動の多様性について学習する。					
	2	個人・個人間の行動変容の理論とモデルの活用		到達目標:個人・集団の行動変容に必要な行動科学理論を習得し、活用できる。 学習内容:行動科学理論の特徴、組み合わせ方、対象別適用方法を学習する。					
	3	組織づくり・地域づくり、食環境づくりへの展開		到達目標:組織づくり・地域づくりへの展開の流れを理解する。 学習内容:ソーシャルネットワーク、ソーシャルサポート、コミュニティ・オーガニゼーションなどの応用を学習する。					
	4	栄養教育マネジメントで用いる理論やモデル(1)		到達目標:栄養教育のマネジメントの理論とモデルを理解する。 学習内容:プリシード・プロシードモデル、ならびに栄養教育での活用方法を学習する。					
	5	栄養教育マネジメントで用いる理論やモデル(2)		到達目標:栄養教育のマネジメントの理論とモデルを理解する。 学習内容:生態学モデル、ならびに栄養教育での活用方法を学習する。					
	6	栄養教育マネジメントで用いる理論やモデル(3)		到達目標:栄養教育のマネジメントの理論とモデルを理解する。 学習内容:ソーシャルマーケティング理論、ならびに栄養教育での活用方法を学習する。					
	7	栄養教育マネジメントで用いる理論やモデル(4)		到達目標:栄養教育のマネジメントの理論とモデルを理解する。 学習内容:PDCAサイクル、ならびに栄養教育での活用方法を学習する。					
	8	栄養教育マネジメント(1)		到達目標:栄養教育プログラム作成を理解する。 学習内容:栄養教育プログラムの目標の種類と意義を学習する。					
	9	栄養教育マネジメント(2)		到達目標:栄養教育プログラム作成を理解する。 学習内容:栄養教育プログラムにおける学習者及び場の決定、期間・時期・頻度・時間の設定、実施者の決定とトレーニングを学習する。					
	10	栄養教育マネジメント(3)		到達目標:栄養教育プログラム作成を理解する。 学習内容:栄養教育プログラムの評価の種類と意義を学習する。					
	11	栄養カウンセリング(1)		到達目標:栄養カウンセリングの概要と行動カウンセリングを理解する。 学習内容:栄養カウンセリングの概要と行動カウンセリングを学習する。					
	12	栄養カウンセリング(2)		到達目標:カウンセリングの基礎的技法を理解する。 学習内容:傾聴、受容、共感、要約、開かれた質問、閉ざされた質問を学習する。					
	13	栄養カウンセリング(3)		到達目標:主な行動カウンセリング手法を理解する。 学習内容:認知行動療法、動機づけ面接を学習する。					
	14	栄養カウンセリング(4)		到達目標:栄養カウンセリングの基本的技法をライフステージ別栄養教育に活用できる。 学習内容:ライフステージ別の栄養カウンセリングの特徴を学習する。					
	15	栄養カウンセリング(5)		到達目標:栄養カウンセリングの基本的技法を臨床の場の栄養教育に活用できる。 学習内容:臨床の場における栄養カウンセリングの特徴を学習する。					
成績評価の方法・基準		課題と小テスト(40%)、期末試験(60%)を総合して評価する(対面・オンライン共通)。							
教科書		①栄養カウンセリング論 ②学生・管理栄養士のための栄養教育論			①赤松利恵、永井成美 著 ②丸山千寿子、赤松利恵、中村菜々子編集			①化学同人 ②文光堂	
参考図書		授業時間内に適宜指示する							
教員からのメッセージ		昨年度の授業評価アンケート結果に基づく改善を施します。課題はコメント等を付して授業内で返却します。オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知いたします。受講生の理解度に応じて、学習内容の配分、順番を変更することがあります。変更する場合は、授業内または掲示でお知らせします。							